

課題名：慢性腎臓病発症・進展予防に向けたデジタル行動変容エビデンス創出プラットフォームの開発

代表機関／代表者：広島大学／福間真悟

分担機関：京都大学、東京医科大学、株式会社JMDC、株式会社キャンサースキャン

研究期間：令和7年9月～令和10年3月

研究開発目的

- 慢性腎臓病（CKD）発症、進展予防につながる行動変容エビデンス＊を創出する。
＊CKD指針のヘルスケアアクションがターゲットとする複数の生活行動に対応する包括的、科学的なエビデンス
- PHR（Personal Health Record）基盤と連携し、エビデンスに基づくデジタル行動変容介入の社会実装を目指す。

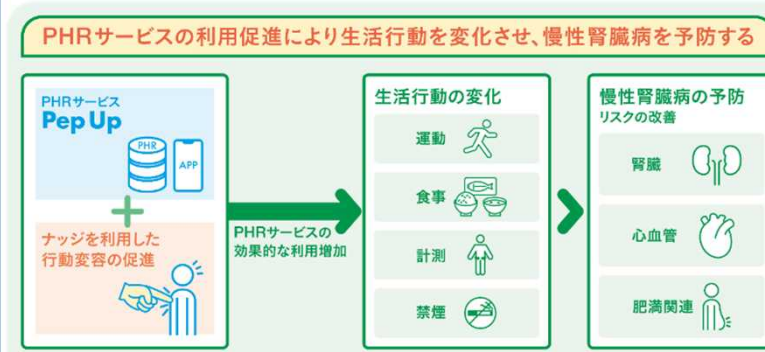
取り組み

- PHR基盤上で実施するリアルワールドRCTにて、PHR利用行動→生活行動変化→健康アウトカムの因果経路を解明する。
- PHR利用行動を強化するために、コミットメント、モニタリング、フィードバック、インセンティブを組み合わせたデジタル行動変容介入を実装する。
- リアルワールドRCTにより取得された大規模データに操作変数法による因果推論手法を応用することで、質の高い行動変容介入エビデンスを得る。

期待される成果

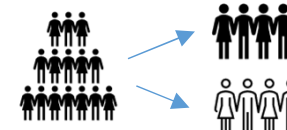
- 各生活行動を変えることによってCKDの発症予防や進展予防にどのような効果があるのか、科学的に質の高い根拠が得られる。
- PHR基盤を活用し、他の健康課題にも応用可能でスケーラブルな行動変容介入アプローチが示される。

PHR基盤に実装するデジタル行動変容



リアルワールドRCTによるエビデンス

- CKDリスク集団、CKD集団を対象としてリアルワールドで行うRCT



- RCTデータを活用し、各生活行動→アウトカムの因果経路を解明

